



# Gluegent Flow マニュアル

## 利用ユーザー選択

### (管理者向け)

# 目次

1. はじめに.....	2
2. 利用ユーザー選択の概要.....	2
2.1. 利用ユーザー選択とは.....	2
3. 機能説明.....	3
3.1. 利用ユーザー選択機能の概要.....	3
3.2. 利用ユーザー選択機能の利用方法(G Suite).....	3
3.2.1. 利用ユーザー選択設定シートの作成.....	3
3.2.2. 利用ユーザー選択設定シートの取り込み(G Suite).....	5
3.3. 利用ユーザー選択機能の利用方法(Office 365).....	5
3.3.1. 利用ユーザー選択設定 CSV の作成.....	5
3.3.2. 利用ユーザー選択設定 CSV の取り込み(Office 365).....	6

## 1. はじめに

本書は Gluegent Flow の概要および管理者向け操作手順を説明しており、G Suite や Office 365 の操作手順および Gluegent Flow の一般利用者向け操作手順の説明は含んでおりません。

本書は 2020 年 10 月 1 日時点の情報を元に作成しているため、実際の画面や仕様と異なる場合があります。

## 2. 利用ユーザー選択の概要

### 2.1. 利用ユーザー選択とは

Gluegent Flow を使用できるユーザーを制限できます。利用ユーザー選択機能でユーザーを選択した場合、許可したユーザー以外は Gluegent Flow を使用できません。

## 3. 機能説明

### 3.1. 利用ユーザー選択機能の概要

Gluegent Flow を利用可能なユーザーを Google スプレッドシート(G Suite)または CSV ファイル(Office 365)で制限できます。例えば G Suite/Office 365 には 100 名のユーザーが存在するが、Gluegent Flow を利用するのはそのうちの 10 名の場合、この機能を利用し、利用者を制限できます。

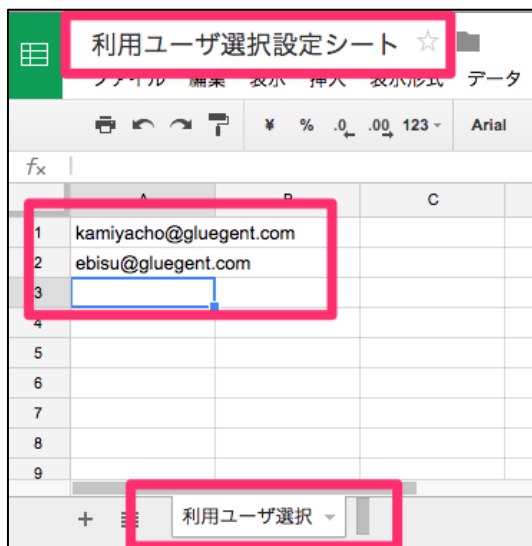
**※注意※**

- G Suite/Office 365 の管理者は、利用ユーザー選択での設定に関わらず、Gluegent Flow にアクセス可能です。

### 3.2. 利用ユーザー選択機能の利用方法(G Suite)

#### 3.2.1. 利用ユーザー選択設定シートの作成

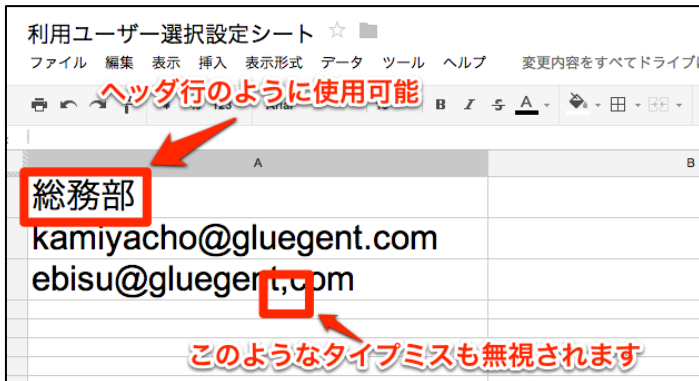
利用ユーザー選択設定シートをスプレッドシートで作成します。



- スプレッドシートの最初のシート(一番左のシート)に、利用するユーザーのメールアドレスを記述してください。
- 記述する際は、1 セルごとに、1 つのメールアドレスを指定してください。
- 記述位置に制限はありません。最初のシートに記述されているすべてのセルの内容が利用可能と指定されたユーザーとみなされます。
- スプレッドシート、シートの名前に指定はありません。
- 1 シート目以外のシートは無視されます。
- 空行がある場合、それより下のデータは無視されます。
- ヘッダ行のようなものを追加しても構いません。

**※ただし、このデータも 1 件としてカウントされますのでご注意ください。**

- タイプミスがあっても 1 件としてカウントされます。



- 1つのセルに複数アドレスを設定することはできません。



### 3.2.2. 利用ユーザー選択設定シートの取り込み(G Suite)

作成した利用ユーザー選択設定シートを取り込みます。

「設定」にて「利用ユーザー選択」をクリックします。



設定項目は以下の通りです。

No	項目名	説明
1	利用ユーザー選択	<p>利用ユーザー選択機能の有効/無効を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用ユーザー選択を行う 利用ユーザー選択機能が有効になります。利用ユーザー選択設定シートに設定されていないユーザーは Gluegent Flow にアクセスできません。</li> <li>・利用ユーザー選択を行わない 利用ユーザー選択機能が無効になります。ドメイン内のユーザーは全員 Gluegent Flow にアクセスできます(サービスがオフの組織のユーザーは除く)。</li> </ul> <p>初期値は「利用ユーザー選択を行う」になっていますので、G Suite の特権管理者以外はアクセスできなくなっています。</p>
2	利用ユーザー選択設定シート	前項で作成したスプレッドシートを選択します。
3	取り込む	指定されたシートを取り込みます。

虫めがねアイコンをクリックし、対象のスプレッドシートを選択後、「取り込む」をクリックします。「取り込む」クリック後、利用ユーザー選択機能が有効になり、対象ユーザー以外のアクセス制御が有効になります。

#### ※注意※

- この設定内容が有効になるまでに数分必要です。
- 取り込み後にスプレッドシートを変更しても自動的に同期されません。スプレッドシートを変更した際は毎回「取り込む」をクリックしてください。

## 3.3. 利用ユーザー選択機能の利用方法(Office 365)

### 3.3.1. 利用ユーザー選択設定 CSV の作成

利用ユーザー選択設定 CSV をテキストエディタまたは Excel 等で作成します。

```
user1@example.com
user2@example.com
user3@example.com
```

- 各行に利用するユーザーのメールアドレスを 1 件ずつ記述してください。
- 記述する際は、1 行ごとに、1 つのメールアドレスを指定してください。
- ファイルの名前に指定はありません。
- 空行がある場合、それより下のデータは無視されます。
- ヘッダ行のようなものを追加しても構いません。  
※ただし、このデータも 1 件としてカウントされますのでご注意ください。
- タイプミスがあっても 1 件としてカウントされます。
- 1 つのセルに複数アドレスを設定することはできません。

### 3.3.2. 利用ユーザー選択設定 CSV の取り込み(Office 365)

作成した利用ユーザー選択設定 CSV を取り込みます。

「設定」にて「利用ユーザー選択」をクリックします。



設定項目は以下の通りです。

No	項目名	説明
1	利用ユーザー選択	<p>利用ユーザー選択機能の有効/無効を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用ユーザー選択を行う 利用ユーザー選択機能が有効になります。利用ユーザー選択設定シートに設定されていないユーザーは Gluegent Flow にアクセスできません。</li> <li>・利用ユーザー選択を行わない 利用ユーザー選択機能が無効になります。ドメイン内のユーザーは全員 Gluegent Flow にアクセスできます。 初期値は「利用ユーザー選択を行う」になっていますので、Office 365 の管理者以外はアクセスできなくなっています。</li> </ul>
2	ファイルを選択	前項で作成した CSV ファイルを選択します。
3	取り込む	指定された CSV ファイルを取り込みます。

「ファイルを選択」をクリックし、対象の CSV ファイルを選択後、「取り込む」をクリックします。「取り込む」クリック後、利用ユーザー選択機能が有効になり、対象ユーザー以外のアクセス制御が有効になります。

**※注意※**

- この設定内容が有効になるまでに数分必要です。
- 取り込み後に CSV ファイルを変更しても自動的に同期されません。CSV ファイルの内容を変更した際は毎回「取り込む」をクリックしてください。





# Gluegent Flow マニュアル

2020年10月1日  
サイオステクノロジー株式会社

※本書にて記述した製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。  
※本書の内容の無断転載および改変を禁止します。

---